

北九州市立大学 データサイエンス・AI 教育プログラム(応用基礎)
2024 年度(令和 6 年度)自己点検・評価の結果

本教育プログラムの自己点検・評価にあたり、内部質保証推進室・基盤教育センター・FD 委員会および授業担当教員が連携して、履修・修得状況の把握、アンケート実施、学修成果の確認および理解度・満足度の把握を行った。これらの結果をもとに、自己点検・評価を実施し、教育プログラムの改善に取り組んだ。

以下に自己点検・評価の結果を示す。

【学内からの視点】

① プログラムの履修・修得状況

プログラムの履修・修得状況は、本教育プログラムを構成する科目である「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」の履修・単位取得状況を把握することにより確認した。受講者ごとの課題・演習等の進捗状況は、LMS を活用することにより把握した。

2024 年度は、全学部・学群で、

「社会を動かすデータ活用」履修者 289 名(再履修者 10 名を含む)、単位取得者 205 名

「社会で生きる AI 技術」履修者 367 名(再履修者 14 名を含む)、単位取得者 267 名

であり、プログラム履修者※¹は 542 名、プログラム修了者※²は 56 名であった。2023 年度以降の状況を表 1、表 2、表 3 にまとめる。

※¹ プログラム履修者:

「社会を動かすデータ活用」または「社会で生きる AI 技術」の履修者

※² プログラム修了者:

「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」の単位取得者

表 1. 「社会を動かすデータ活用」履修者と単位取得者(カッコ内は、再履修者の数で、内数)

区分	2024 年度	2023 年度
「社会を動かすデータ活用」履修者(名)	289 (10)	205
「社会を動かすデータ活用」単位取得者(名)	205	155

表 2. 「社会で生きる AI 技術」履修者と単位取得者(カッコ内は、再履修者の数で、内数)

区分	2024 年度	2023 年度
「社会で生きる AI 技術」履修者(名)	367 (14)	309
「社会で生きる AI 技術」単位取得者(名)	267	225

表 3. プログラム履修者とプログラム修了者

区分	2024 年度	2023 年度
プログラム履修者(名)	542	394
プログラム修了者(名)	56	84

② 学修成果

本教育プログラムを構成する科目である「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」の受講者に対して授業評価アンケートを実施することにより、学修成果に関する結果を確認し、本教育プログラムの自己点検および評価・改善に活用した。また、課題・演習等の成果物およびディプロマ・ポリシーの到達度を把握することにより、学修成果を確認した。

成績評価を行った結果、2024 年度の単位取得率^{※3}は、

「社会を動かすデータ活用」 単位取得率 71%(205/289 名)

「社会で生きる AI 技術」 単位取得率 73%(268/367 名)

であることを確認した。2023 年度以降の状況を表 4 にまとめる。

※3 単位取得率:(単位取得者/履修者)×100%

表 4. 単位取得率

区分	2024 年度	2023 年度
「社会を動かすデータ活用」単位取得率	71%	76%
「社会で生きる AI 技術」単位取得率	73%	73%

③ 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

本教育プログラムを構成する科目である「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」の受講者に対して授業評価アンケートを実施することにより、学生の理解度を把握し、自己点検および評価・改善に繋げた。また、授業評価アンケート結果を授業担当教員にフィードバックし、教員自らによる自己点検および評価・改善に活用した。

2024 年度の授業評価アンケート結果は、理解度・満足度ともに肯定的な回答の割合が多く、理解度は「深まった/やや深まった」の回答割合が、

「社会を動かすデータ活用」 87.7%

「社会で生きる AI 技術」 93.1%

満足度は「満足/やや満足」の回答割合が、

「社会を動かすデータ活用」 87.4%

「社会で生きる AI 技術」 93.8%

であることを確認した(別紙参照)。また、5 点満点の加重平均値は、

「社会を動かすデータ活用」 理解度 4.37/5 点, 満足度 4.39/5 点

「社会で生きる AI 技術」 理解度 4.50/5 点, 満足度 4.54/5 点

となっており、これらの結果から、本教育プログラムに問題がないことを確認した。2023 年度以降の状況を表 5, 表 6, 表 7, 表 8 にまとめる。

表 5. 「社会を動かすデータ活用」授業評価アンケート結果(理解度と満足度, 回答割合)

区分	2024 年度	2023 年度
理解度「深まった/やや深まった」	87.7%	96.4%
満足度「満足/やや満足」	87.4%	94.7%

表 6. 「社会で生きる AI 技術」授業評価アンケート結果(理解度と満足度, 回答割合)

区分	2024 年度	2023 年度
理解度「深まった/やや深まった」	93.1%	94.5%
満足度「満足/やや満足」	93.8%	93.3%

表 7. 「社会を動かすデータ活用」授業評価アンケート結果(理解度と満足度, 加重平均値)

区分	2024 年度	2023 年度
理解度(点)	4.37	4.46
満足度(点)	4.39	4.61

表 8. 「社会で生きる AI 技術」授業評価アンケート結果(理解度と満足度, 加重平均値)

区分	2024 年度	2023 年度
理解度(点)	4.50	4.43
満足度(点)	4.54	4.50

④ 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

本教育プログラムの詳細について Web サイトに掲載して, 在学生・入学希望者等へ周知を行っている。また, 授業評価アンケートにおける理解度・満足度の結果を踏まえて, 入学オリエンテーションでのアナウンスや関連科目での科目案内資料配布などを行い, プログラムの履修を推奨している。

⑤ 全学的な履修者数, 履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

本教育プログラムの開設年度は 2023 年度であり(2022 年度以降入学生, 2 年次以降が対象), 2024 年度までのプログラム履修者数合計は 936 名, プログラム履修率^{※4}は 17%となった。2025 年度以降も, 履修者数合計および履修率は増加すると見込まれる。2023 年度以降の状況を表 9 にまとめる。

本教育プログラムの詳細は Web サイトに掲載して学生へ周知するとともに, 関連科目等でのアナウンスを行っている。引き続き, 履修者数・履修率の向上に向けた取り組みを行う。

※4 プログラム履修率: (履修者数合計/収容定員 5,596 名)×100%

表 9. プログラム履修者数合計とプログラム履修率

区分	2024 年度	2023 年度
プログラム履修者数合計(名)	936	394
プログラム履修率	17%	7%

【学外からの視点】

① 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

2024 年度時点で本教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には進路、活躍状況、企業等の評価を把握し、本教育プログラムの改善の参考とする予定である。

② 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

2024 年度時点で本教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には本教育プログラム内容・手法等に対する企業等からの意見を把握し、教育プログラムの改善の参考とする予定である。

【その他】

① 数理・データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること

本教育プログラムを構成する科目である「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」について、データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらえるような講義内容を検討し、授業を実施した。また、授業評価アンケートの結果を踏まえ、学修成果に関する結果を自己点検および評価・改善に繋げ、「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらえるような教育プログラムを検討した。

表 5、表 6 に示したように、2024 年度の授業評価アンケート結果は、

「社会を動かすデータ活用」 理解度 4.37/5 点、満足度 4.39/5 点

「社会で生きる AI 技術」 理解度 4.50/5 点、満足度 4.54/5 点

であった。「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を意識した授業を実施した結果、理解度や満足度の観点から「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらえる内容になっていると考えられる。

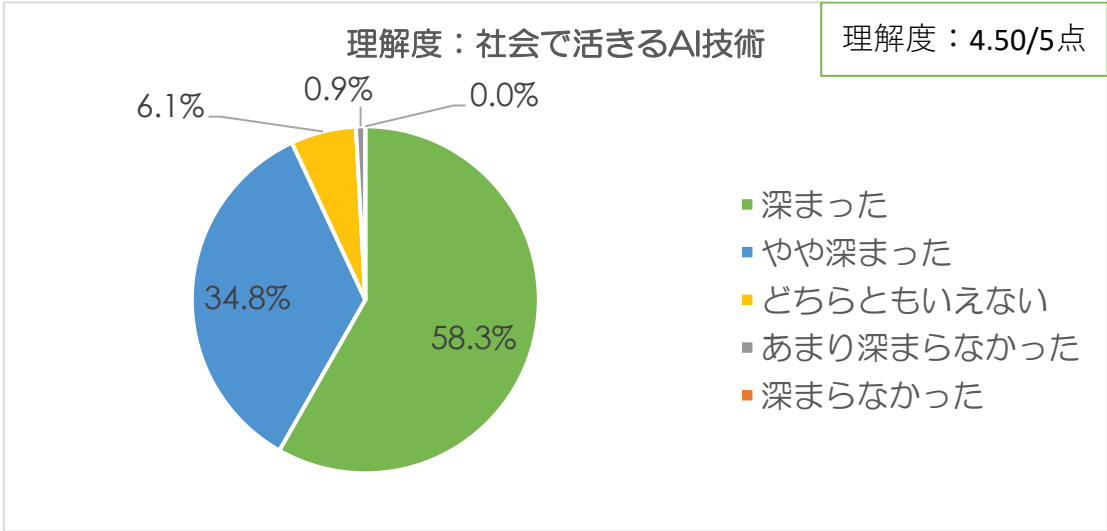
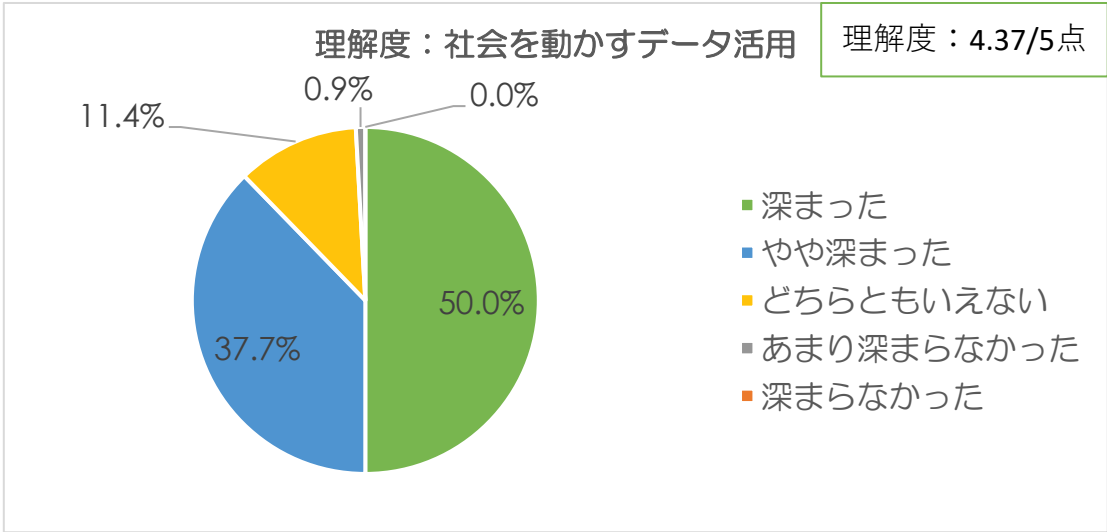
② 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること

授業評価アンケートにより、学生の理解度を把握し、学修成果に関する結果を自己点検および評価・改善に繋げた。また、授業評価アンケート結果を授業担当教員にフィードバックすることにより、内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業となるように、教員自らによる自己点検および評価・改善も行なった。

別紙:2024 年度「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」授業評価アンケート結果(理解度と満足度)

北方キャンパス(外国語学部, 経済学部, 文学部, 法学部, 地域創生学群)学生とひびきのキャンパス(国際環境工学部)学生を対象として, 「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」のメディア授業を各 1 クラス実施した。両科目の授業評価アンケート結果(理解度, 満足度)を以下に示す。結果から, 両科目とも理解度・満足度ともに肯定的な回答が多いことが確認できる。

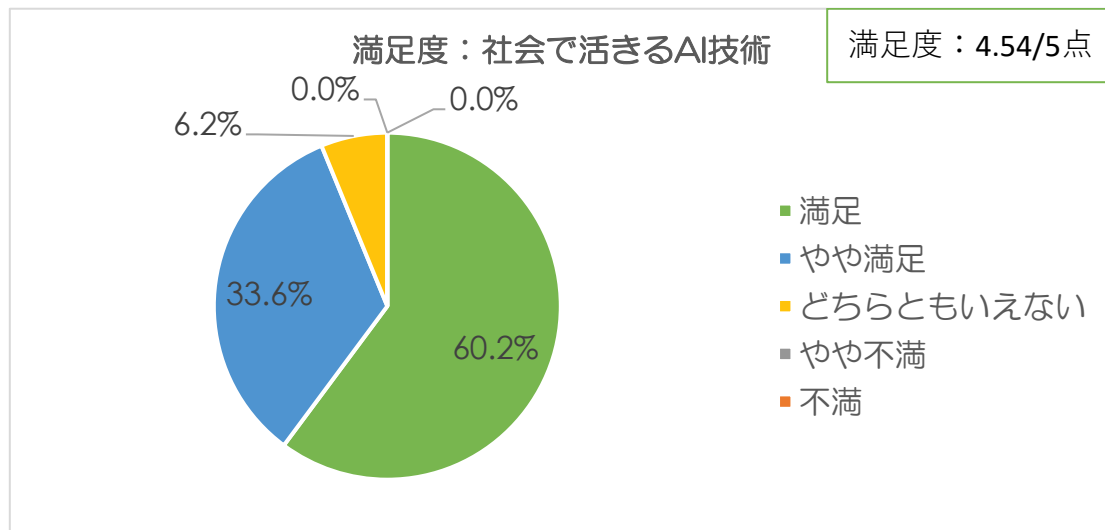
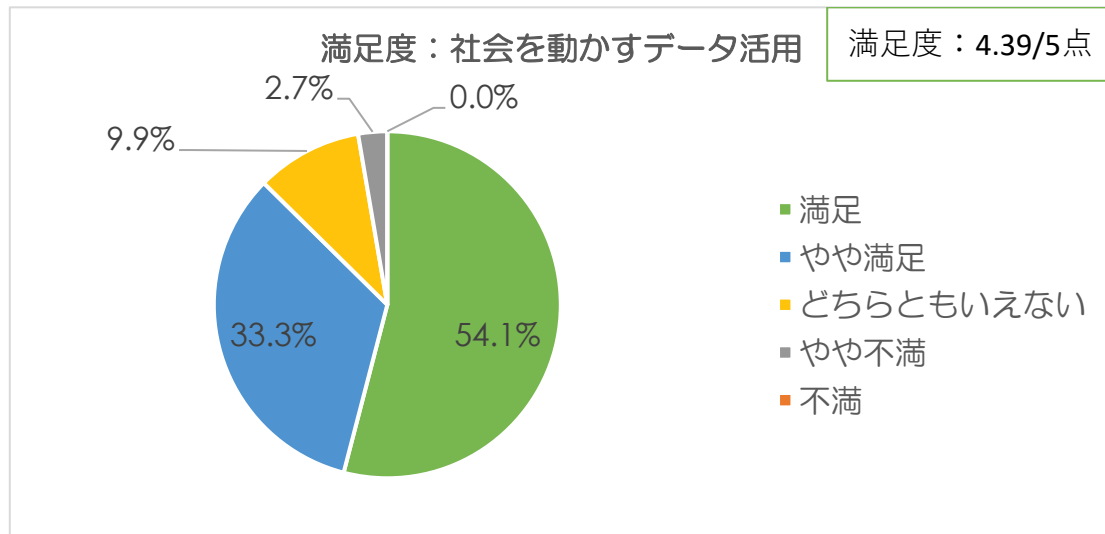
【理解度の結果】



5 点満点の加重平均値

理解度 = [深まった(%) × 5 点 + やや深まった(%) × 4 点 + どちらともいえない(%) × 3 点 + あまり深まらなかった(%) × 2 点 + 深まらなかった(%) × 1 点] / 100

【満足度の結果】



5点満点の加重平均値

$$\text{満足度} = [\text{満足}(\%) \times 5 \text{点} + \text{やや満足}(\%) \times 4 \text{点} + \text{どちらともいえない}(\%) \times 3 \text{点} \\ + \text{やや不満}(\%) \times 2 \text{点} + \text{不満}(\%) \times 1 \text{点}] / 100$$